

支持療法薬の投与日変更を依頼した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、外来化学療法予定患者のカルテを確認し、支持療法薬の投与日変更を依頼することで、安全な化学療法に貢献できたプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

▶原疾患に対して外来化学療法施行予定の患者

施行中の化学療法
カバジタキセル療法（商品名：ジェブタナ点滴静注）

発熱性好中球減少症の発症抑制目的で
ジーラスタ皮下注 3.6mg が、ジェブタナと同日にオーダーされていた



D さん



医師

ジェブタナを投与予定の D さんですが、ジーラスタがジェブタナの投与日にオーダーされております。
ジェブタナの投与終了後から 24 時間以内に、ジーラスタを投与することはできないため、投与日を変更頂けますでしょうか。

ありがとうございます。オーダー日を間違っておりました。
ジーラスタは、ジェブタナの投与翌日に来院してもらい投与します。



薬剤師

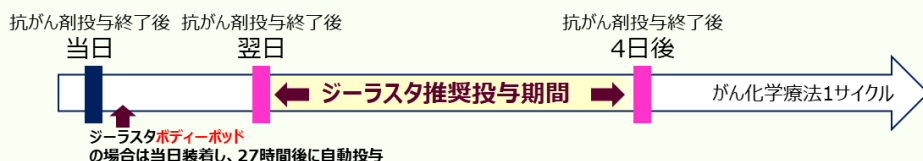
その後、速やかにジーラスタの投与日が変更となった。
外来化学療法予定患者のカルテを確認し、支持療法薬の投与日変更を依頼することで、安全な化学療法に貢献できた。

Q. 化学療法と同日、もしくは化学療法後 24 時間以内に、ジーラスタを投与してはいけないのはなぜですか。

A. ジーラスタ（G-CSF 製剤）を抗がん剤と同時に投与すると、G-CSF によって分化・増殖過程に入った好中球系前駆細胞が抗がん剤によって大きな障害を受け、**逆に過度の好中球減少を起こす可能性がある**ためです。

Q. 化学療法終了後翌日以降の投与であれば、いつ投与しても良いですか。

A. 添付文書の記載（がん化学療法剤の投与開始 10 日前から投与終了後 24 時間以内に本剤を投与した場合の安全性は確立していない）、および日本癌治療学会 G-CSF 適正使用ガイドライン（2022 年 10 月改訂 第 2 版）、NCCN ガイドライン等を参考に、当院では抗がん剤投与終了後 4 日後までの（4 日以内の）投与を推奨しています。



参考文献：添付文書

協和キリンメディカルサイト ジーラスタよくある医薬品 Q&A (<https://medical.kyowakirin.co.jp/druginfo/qa/gls/index.html>)

日本癌治療学会 G-CSF 適正使用ガイドライン（2022 年 10 月改訂 第 2 版）

NCCN Guidelines Version 1.2025

DI ニュース 2023 年 2 月 1 号 ジーラスタ皮下注適正使用のお願い ver4.0